

Ⅱ．プロジェクト研究 歴史部会プロジェクト研究報告「市場の地域性」

歴史部会では、専任教員と助教、大学院生を中心に「市場の地域性」というテーマの研究を続けてきた。まず、大学院生や助教による研究報告を年に数回行ってきた。大学院生や助教の研究をさらに発展させるべく、参加者の間で自由に議論をした。研究者の育成という点では、一定の成果がみられたものと思われる。

また、台湾の国立台北大学人文学院の歴史系教員との間で、日台関係の経済史研究を行ってきた。日本と台湾で研究会を数回実施し、学内の助成金や科学研究費補助金を獲得しながら『植民地台湾の経済と社会』『植民地台湾の経済基盤と産業』などの成果を生み出してきた。

さらに、川越市の要請を受けて川越商工会議所が所蔵する史料の整理を行い、資料目録を作成した。そして、科学研究費補助金を獲得し、現在研究を続けている。

以上のように歴史部会では、大学院生の研究報告を定例で実施するとともに、共同研究を組織し、大学院生や助教をも巻き込みながらいくつかの成果をあげてきた。

文責：老川慶喜（本学経済学部教授）